

令和7年度とうきょうすくわくプログラム実践報告書

所在	町田市原町田2 - 12 - 17
園名	町田なかよし保育園

1・活動のテーマ

<テーマ>

絵画・描画

<テーマの設定理由>

クレヨンと模造紙で、絵を描くことを楽しむ姿が多く見られたため。

2・活動スケジュール

- ・個人で、画用紙にスタンプ台で指スタンプを行う(青、橙、緑、桃から一色)
- ・各グループで、模造紙に指絵の具でハンドペイントを行う(赤、青、黄、白)
- ・全員で、テラスで窓ガラスにハンドペイントを行う(赤、黄、白)

3・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・スタンプ台(青、橙、緑、桃)
- ・指絵の具(赤、青、黄、白)
- ・模造紙
- 画用紙
- ・お皿

4・探究活動の実践

<活動の内容>

6月10日、25日

好きな色のスタンプ(青、橙、緑、桃から1色)で、画用紙に指スタンプをする(個人)

8月8日

赤、青、黄の絵の具で、ハンドペインティングをする(3~4人)

8月28日

赤、黄、白の絵の具で、テラスで窓ガラスにハンドペインティングを行う(全員)

<活動中の子供の姿・声・子供同士や保育者との関わり>

- ・指スタンプでは、指に色がついたのを見て、「ピンクになった」と驚く様子があり、普段使っているクレヨンとの色の付き方の違いに、驚く子もいた
- ・回数を重ねると、スタンプをつけた指を画用紙の上でスライドさせると、線を描くことができることに気が付き始める子もいた。また、三指にインクをつけて一度に複数の点をスタンプしたり、第二関節までインクを付け「長くなった」と保育者に見せたりと、様々な方法での表現を楽しむ姿が見られた。
- ・ハンドペインティングでは、複数色の絵の具を手のひらにのせて混ぜ、色が変わったりグラデーションになったりすることを楽しみ、友達や保育者と見せ合っていた。また、「ヌルヌルしている」「ちょっと温かい」と、スタンプやクレヨンとの違いを友達と共有していた。
- ・テラスでの活動は、裸足で行ったことで、つま先や腕全体に絵の具を塗り、肌に描くことを楽しんでいた。
- ・窓ガラスに塗った絵の具を指でなぞると、スクラッチアートのように描けることに気がつく児もいた。
- ・絵の具が付いた窓ガラスを水で流すと、「絵の具がなくなった」と元の状態に戻ることに関心する姿もあった。



5・振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

普段からお絵描きを楽しむ姿が見られていたが、クレヨンと画用紙以外のものを使用したことがなかった為、良い経験になったのではないかなと思う。活動が続ける中で、一人一枚の画用紙で活動を行うと、友達と発見を共有したり刺激を受けあったりすることが難しかったため、大きい模造紙でグループごとに活動を行った。また、はじめは指先で描いていたが、だんだんと広範囲にインクをつけようとする姿が増えたため、絵の具を子どもの手よりも大きいお皿にだし、手のひら全体につけやすくなるよう工夫した。このような工夫で子どもの探求心が深まり、乾いた絵の具の手形の上にさらに異なる色の絵の具で描いたり、協力して模造紙一面に絵の具を塗ったりと、子ども達主体の活動につながったと感じる。

今回は道具を使わずに手で描いたが、どのようなもので描けるかを考えて道具を取り入れてみたり、道具を取り入れた事でどのような変化があるかなど、子どもたちの探求心を深めていきたい。